

南丹市子どもの未来応援プラン ～子どもの貧困対策推進計画～ の進捗状況について

基本理念

すべての子ども達が、その生まれ育った環境に左右されず、自分自身の生きる力を高め、未来を切り拓き夢をもって成長していける社会の実現を目指します。

■基本目標 1

子どもの健やかな育ちと安心して過ごせる環境の支援

【新規事業】

事業・取組	令和3年度のごき	令和4年度の進捗状況 今後の予定
第三の居場所 開設	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年10月に南丹市子ども家庭サポートセンター「Ruri」を開設。 ・「Ruri」では、子ども達が居心地よく感じ、安心して過ごせる場づくりを大切にし、次の活動へのやる気に繋がる土台の部分を担うことを役割として運営している。 ・令和3年度「サポート教室」の利用児童検討会議は5回開催し、利用が決定しているのは13人、うち8人の児童が利用した。 ・日常的な体験（掃除、調理、菜園活動など）に加え、豊かな経験と楽しい気づきが得られるよう、日帰り旅行や野外体験活動を実施した。 ・「Ruri」の周知や利用に繋げるための催しとして、NPO法人や団体と共催し、「こども食堂」や「子育てつどいのひろば」を「Ruri」にて実施した。 ・また、令和4年4月に隣接している放課後児童クラブ「たんぼぼ」が開設することにあわせ、令和3年10月以降、社会教育課、園部小学校と合同検討会議を重ね、それぞれの施設の居場所として目的、支援のあり方を再確認してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、「Ruri」の利用を必要とする子ども達が繋がり、安心して過ごせる居場所の提供に努めている。今年度は、支援員を調理体験専門、生活体験専門とそれぞれの役割を明確化し、より支援が行き届くようにしている。 ・また、「Ruri」の利用目的について、正しい理解を深め、利用につなげていけるよう、今年度もNPO法人等とも共催し、「こども食堂」等定期的に実施していきたい。 ・令和4年4月には社会教育課、園部小学校と合同で、職員、施設スタッフ研修を実施。今年度も、子どもが放課後を過ごすそれぞれの「居場所」として、支援のあり方について継続して合同会議や研修を重ねていく予定である。

食事の提供支援 についての研究	・社会福祉協議会では、フードドライブ事業を実施される中で、新たに生活が厳しくなった方への食糧支援として「食からつながるプロジェクト@なんたん」を実施された。ひとり親世帯へも支援が行き渡るよう、市としても広報等に協力をした。	・地域で支え合える仕組みづくりとして、食事の提供支援ができるよう、昨年度の社会福祉協議会での取組みをきっかけとして、今年度も社会福祉協議会と協力していく。
学習サポーター の登録・派遣	・具体的な検討に至らなかった。	・今年度まずは、「Ruri」で、夏季休業中の大学生のアルバイトを募集しており、「子どもの居場所」での学生の活動のきっかけとしていきたい。
進学に向けた支 援情報の周知の 強化	・具体的な検討に至らなかった。 ・学校への聴取の中で、支援制度が必要と思われる家庭には、進路相談時に、京都府の支援制度一覧やパンフレットで説明されているとのこと。	・今後、子ども達にもわかりやすい「支援制度のてびき」の作成について、学校や関係機関と検討を行う。
子ども達への情 報発信の強化	・具体的な検討に至らなかった。	・今後、SNSの活用の有効性など発信の方法について、学校や関係機関と検討を行う。

■基本目標 2

生活基盤の安定と経済的支援

事業・取組	令和3年度のうち	令和4年度の進捗状況 今後の予定
モノ支援	・具体的な検討に至らなかった。 ◇市内小中学校の「制服等リユース事業促進事例」 市内実施校 小学校 1校 中学校 2校	・引き続き「制服等リユース事業促進事例」の活用を検討する。

■基本目標3

社会全体での気づきの醸成と支援への仕組みづくり

事業・取組	令和3年度のうごき	令和4年度の進捗状況 今後の予定
庁内連携組織の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のケース支援の中で共通する地域の課題を協議をする場として、「子どもの貧困対策庁内推進委員会」を設置し、令和4年2月28日に第1回の委員会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月28日(木)、今年度第1回会議を開催し、子どもの貧困に関する地域の課題や施策等について協議していく。
子どもの貧困への理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で子ども達を見守っていく土壌づくりとして、コミュニティの重要性と日常の大切さを描いた映画「さとにきたらええやん」の上映会を令和4年3月16日に実施した。地域で家庭への支援に携わっていただいている、主任児童委員、NPO法人等団体、母子寡婦福祉会、社会福祉協議会等関係者に参加いただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も研修を企画し、実施していく予定。
気づきマニュアルの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的検討には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの貧困対策庁内推進委員会」や支援団体で、困難を抱えている子ども達の様子に気づきポイントを共有していく。
地域応援ネットワーク会議 (仮称)の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要なケースについて個別の連携を行った。 ・令和3年7月16日、NPO法人や団体等と「意見交換会」を実施し、ネットワークのあり方について協議をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、それぞれ団体等の特徴や活動を活かしつつ、市全体の気運の醸成が図れるネットワークづくりに取り組んでいく。 ・今年度については子どもの貧困対策にかかわる研修会に各団体へ参加を呼びかけ、ネットワークづくりのきっかけとする。
持続可能な支援活動の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的検討には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き検討、協議を行う。
情報発信についての研究	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的検討には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの貧困対策庁内推進委員会」や「意見交換会」で、意見交換を行う。